

質問事項に関する回答書

(件名)磐越自動車道 龍ヶ嶽トンネル工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	3月19日	技術提案関係 様式1~2	2, 3		様式2中に「以下の記載例は削除下さい」と記載されていますが、記載例以外の、「1技術提案につきA4版片面1頁で記載すること。」、「※改善技術提案書として提出する場合は、タイトルを『改善技術提案書(1/2)』とする。」の記載についても削除して枠を広げて使用してもよろしいでしょうか。	問題ございません。
2	3月19日	技術提案関係 様式1~2	2, 3		余白については上下左右12mmを確保すれば枠を広げて使用して良いと考えてよろしいでしょうか。	問題ございません。
3	3月19日	入札公告 (説明書)	9	留意事項 ②	「技術提案に記載する文字の大きさは10ポイント以上とし。」と記載されていますが、フォントの種類、文字色、下線の有無、行間などについては特に制限は無いと考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	ご認識のとおり、フォントの種類、文字色、下線の有無、行間などについて、特に制限はございません。
4	3月19日	入札公告 (説明書)	9	留意事項 ⑥	技術評価基準に”留意事項⑥設計図書において「設計図書の変更及び追加」が示されている場合、これらに関する技術提案は評価対象としない。”と記載されています。特記仕様書の26-1 ”設計図書の変更及び追加では”(7)避難計画について対応の追加をする場合がある”と有りますが、この避難計画とは発注者側で策定されているI期線内から避難連絡坑への避難についての避難計画を指しているのでしょうか。	I期線から避難連絡坑を通じてトンネル坑外までの避難計画に関する関係機関との協議により、契約項目及び技術提案内容を除き、さらに追加の対策を講じる必要が生じた場合を指しております。
5	3月19日	特記仕様書	70	26-1 (7)	”(7)避難計画について対応の追加をする場合がある。”と記載がありますが、公告時の避難計画の標準案の内容をご教示ください。	R6.3.11当社HP掲載の「質問に対する回答書3(番号1)」をご確認ください。
6	3月19日	入札公告 (説明書)	9	評価項目	評価項目の「覆工コンクリートの品質向上に関する技術提案」について、ここでいう覆工コンクリートには避難連絡坑の覆工コンクリートも含むと考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	そのとおりです。
7	3月19日	入札公告 (説明書)	9	評価項目	評価項目の「トンネル施工時におけるお客様避難路の安全確保と誘導方法に関する提案」について西側(終点側)の避難坑からの避難は可能なものとして技術提案を検討すると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	そのとおりです。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
8	3月19日	入札公告 (説明書)	9	評価項目	上記質問について、避難坑西側(終点側)坑口への避難を可能として検討する場合、本工事で設置する仮設構台上への避難を計画されているのでしょうか。ご教示願います。	R6.3.11当社HP掲載の「質問に対する回答書3(番号4)」をご確認のうえ、貴社の施工計画に基づきお考えください。
9	3月19日	R06.03.11 質問回答書1	1	5	「連続した2箇所の避難連絡坑を同時に使用禁止とならないようお考えください。」との回答を頂いていますが、施工中の切羽付近の連絡坑を閉鎖している間に避難連絡坑の拡幅、避難連絡坑の覆工コンクリート打設を行う計画とされているのでしょうか。ご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
10	3月19日	R06.03.11 質問回答書1	1	3, 5	「原則、施工中の切羽は避難路として使用しない方針で考えております。」、「原則、施工中の切羽付近の避難連絡坑は使用しない方針で考えております。」との回答を頂いていますが、発注者側で設定している方針に基づいた技術提案を求められているとの理解でよろしいでしょうか。ご教示願います。	そのとおりです。
11	3月19日	金抜設計書、 数量明細表			本工事の金抜設計書および数量明細書には、I期線防護工が記載されておりません。避難連絡坑を使用禁止にする際に、防護工は設置しない計画とされているのでしょうか。もしくは、他工事での設置を計画されているのでしょうか。ご教示願います。	I期線防護工は設置しない計画としております。
12	3月19日	R06.03.11 質問回答書1	1	2	技術提案の対象範囲として供用中トンネル内も含まれるのかという質問に対して、「供用中トンネル内で非常事態が発生した際のお客さま避難路の安全確保と誘導方法についてお考えください。」との回答を頂いていますが、I期線から避難連絡坑までの避難誘導については技術提案の対象範囲外と考えてよろしいでしょうか。	I期線から避難連絡坑までの避難誘導についても含まれるものとお考えください。
13	3月19日	R06.03.11 質問回答書1	1	7	「非常事態の発生時は、道路管制センターから監督員を経由して受注者に電話等で即時情報共有される」との回答を頂いていますが、I期線側の避難連絡坑扉の開閉情報は受注者側で把握することは可能でしょうか。	非常事態の発生時と同様に、道路管制センターから監督員を経由して受注者に電話等で即時情報共有されるものとお考えください。
14	3月19日	割掛対象 参考内訳書	2		工事用機械運搬費(トンネル)に「油圧切削機」との記載がありますが、自由断面掘削機の誤りではないでしょうか。ご確認願います。	割掛対象表参考内訳書に関する質問は受付けておりません。なお、工事用機械運搬費(トンネル)の数量内訳は、正しくは「自由断面掘削機」となります。
15	3月19日	特記仕様書	37	24-13	(1)トンネル掘削方法の表において、掘削方式に「機械掘削」、掘削工法に「補助ベンチ付全断面掘削工法」と記載されています。機械掘削においては上半先進ベンチカット工法(上下半同時併進)が標準工法と考えますが、特記仕様書に記載される掘削方法および掘削工法の組み合わせでよろしいでしょうか。ご教示願います。	特記仕様書24-13(1)に示すとおり、機械掘削方式による補助ベンチ付全断面掘削工法を想定しています。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
16	3月19日	設計図 (トンネル編)	62	図面番号58/191	避難連絡坑を拡幅施工中で使用禁止している場合には、当該避難連絡坑のⅡ期線施工区間外(Ⅰ期線側)に安全設備等を仮置きすることは可能でしょうか。	使用禁止期間中、Ⅰ期線側に影響を与えない場合に限り可能です。
17	3月19日	設計図 (トンネル編)	3~7	図面番号1~ 5/191 平面図	避難坑両坑口の扉の有無についてご教示願います。また、扉が設置されている場合、通常は開かれているのか閉じられているのかをご教示願います。	避難坑両坑口に扉はありません。